

日本体育科教育学会会長
日本スポーツ教育学会副会長
公益財団法人日本学校体育研究連合会理事長
筑波大学体育系教授

岡出 美則 編・解説

戦後体育学習

指導資料集

全7巻



(1) 第二次大戦後、法的拘束力をもつ学習指導要領が

生み出される前に先人がどのような試みをしたのか、また、

(2) 学習指導要領が法的拘束力をもった時期にどのような

試みが登場してくることになるのか、という二つの関心から資料集を収集した。

『戦後体育学習指導資料集』出版に際して

筑波大学 岡出美則

東京オリンピック・パラリンピック二〇二〇を前に、学習指導要領の改訂作業が始まろうとしている。約半世紀を経て開催されるオリンピックであるが、一九六四年のオリンピックの遺産は、現在も数多く継承されている。学校体育もその一つである。

例えば、今日、プールや運動場、体育館といったスポーツ施設が学校に整備されていることに違和感を感じる人は少ない。しかし、ひとたび海外に足を運べば、日本では体育の授業を行うために必要な環境条件がきわめて整備されていることを実感することになる。学習指導要領上の時間数確保、施設条件、教員の資格並びに研修システム等である。

しかし、このような状況は短期に生み出されたものではない。常に歴史的に構成され続けてきた。それはまた、歴史的にみて消滅していったものも多々あることを示している。そのため、体育スポーツ担当等大臣会議が核になり体育の授業の質保証に向けた取り組みが一九九〇年第九次以降積極的に推進されてき

戦後体育学習指導資料集

全7巻

〔第1巻〕 師範体育

●師範学校体育連盟編著／昭和23年／体育日本社

〔内容〕 第一篇総論（体育の目的及目標、体育の必要性、体育の種類、体育史）、第二篇教材編（運動、衛生）、第三篇指導編（指導の本質、指導の方法、指導の計画、指導上の注意、体育管理、考査と測定）

体育のカリキュラム

●竹之下休蔵著／昭和24年／誠文堂新光社

〔内容〕 カリキュラムの動向と体育、体育のカリキュラム構成、ロスアンゼルス郡学習指導要領における体育、ミズリー州体育カリキュラム（中等学校）の概要、バージニア州学習指導要領における体育

第二章 體育のカリキュラム構成

第一節 構成の前提條件

一 カリキュラムの形態と構成の方法

時代の推移やカリキュラムの形態の変化に伴って體育がその意義内容を新化したことは前章で既に述べた。教科カリキュラムとコア・カリキュラムの相違は教科の区別を立てるか、その枠を外して統合するかだけでなく、教育内容を如何なる観点に立てて選ぶべきかの相違がある。即ち教育内容の求め方とその構成の仕方に異なる所がある。しかし今日の教科カリキュラムは多く活動カリキュラムの形態をとり、客観的な知識の體系にその内容を求めている。この中でコア・カリキュラムに非常に接近している見よう、しかし編成の仕方は異なっている。一方コア・カリキュラムについては既に教科の枠を外しているが系統的学習を決定してない。中心學科では肢體科を中心として統合されているが基礎學習としての直接技術や心情的教育や體育では系統的學習が重んじられている。コア・カリキュラムのスコープは社會機能の分析から考へるにしても又個人的な要求を加味するにしても人間生活の各領域を視野にもつことになるから當然體育もそこに含まれることになる。しかしページア案にも見る如くその學習活動の性格からしても又系統的學習の必要からしてもいわゆる中心學習に吸収して行くことはでき

第1巻 體育のカリキュラム

〔第2巻〕 新しい小学校 体育学習の指導

― 学習指導要領 ― 體育篇準拠 ―

●新体育学習指導研究会著／昭和24年／不昧堂書店

〔内容〕 小学校体育の特質、小学校体育の目的と目標、体育学習指導の計画、新しい体育指導者、体育学習指導上の注意、体育学習指導の実例

〔第3巻〕 體育の学習指導

― 小学校篇 上巻

●日本体育指導者連盟編／昭和25年／金子書房

〔内容〕 体育科の性格と体育の目標、体育の立場から見た児童の発達、学習内容と指導計画、学校体育の管理と指導法、評価、指導計画の実際とその展開例

一 體育の性格

(一) 體育科と體育の意味

體育の學習指導を具体的に考えることは學習から期待される望ましい発達、すなわち目標の設定、この目標達成に有効な教材の選定や施設の整備、さらにこれら施設・教材を目標達成に役立つように活用する指導法など一連のことが常に関連をもたせながら子供たちの學習活動へ段階的に具体化して行くことである。しかしこれらの問題をできるだけ明確にしかも具体的にとらえるためには體育の意味内容を明らかにしておかなければならない。これは體育の性格に関するところであるから體育の性格の問題にすることは體育指導の出発点をはっきりさせるためである。

現代の教育は常に子供たちの全人的発達を考慮せられることはいうまでもない。しかし學習の効果を高めるためには學習内容をいくつかの領域に分ち指導の焦点を明らかにする必要がある。この分けられた領域は教科と呼ばれることもあれば今日見られるように別な言葉で呼ばれることもある。

學問の分類や体系だけにしたがった教科区分は今日ほとんど見られない。とくに小学校では経験主義的な考え方が基礎となり、生活の野あるいは流れを重んずる學習領域の区分が考えられている。

第3巻 體育の學習指導 小学校篇 上巻

た。国連のミレニアム目標（二〇〇〇年）を経て、ユネスコのベルリン宣言（二〇一三）へと至る過程である。この過程では、特に小学校の体育授業の質保証が求められる、その実質的な保証に必要な評価指標の開発が進められてきた。他方で、スポーツ・フォー・トゥモローにみるように、日本の学校体育のシステムは発展途上国に提供できる一つのモデルとして位置づけられるようになってきた。しかし、その歩みは一筋縄ではなかった。

例えば、第二次大戦が終わった際、體育の授業で号令をかけることや笛を吹くことが止められたことがある。軍事的な方法という理由である。では、第二次大戦前の指導内容や指導方法の修正が求められた際、日本という国は何を手がかりに、どのような方法で體育の授業の質保証を可能にするシステムを構築していたのであろうか。

長いようで短い戦後七〇年。本企画は、このような問題意識のもとで、(1)第二次大戦後、法的拘束力をもつ学習指導要領が生み出される前に先人がどのような試みをしたのか、また、(2)学習指導要領が法的拘束力をもった時期にどのような試みが登場してくることになるのか、という二つの関心から資料集を収集することを試みた。

読者が、これらの資料を目にすることで、現在の體育の學習指導の財産や問題を再認識し、実践の改善につながるアイデアを持っていただければ望外である。

〔第4巻〕 體育の學習指導

― 小学校篇 下巻

●日本体育指導者連盟編／昭和25年／金子書房

〔内容〕 教材の解説（鬼遊び・模倣・物語り遊び、リズム遊び・リズム運動、かけっこ・リレー・陸上運動、ボール遊び・ボール運動、器械遊び・器械運動、水遊び・水泳、徒手体操）

〔第5巻〕 體育の學習指導

― 中等学校篇 上巻

●日本体育指導者連盟編／昭和25年／金子書房

〔内容〕 保健體育科の性格と體育の目標、體育の立場から見た生徒の発達、強調されるべき指導目標と教材、體育の管理と指導法、體育における評価、指導計画

第14表 立巾跳の発達（兵庫縣）

年 齢	男		子		女	
	小学校	年間増量	中学校	年間増量	小学校	年間増量
8-9	160	9			135	7
9-10	159	9			142	8
10-11	168	9			150	9
11-12	177	7			159	6
12-13	184	8	188	7	165	6
13-14	192	10	195	12	170	4
14-15	202	8	207	10	174	1
15-16	210		217	6	173	1
16-17			222	7	175	-1
17-18			229	1	174	-1
18-19			230	-1	173	-7
19-20			231		166	

第二章 體育の立場から見た生徒の発達

なみ、短距離走については、徳島縣で行われた大規模の測定成績がある。その結果によれば、男子では十三、四才頃に著しい時間の短縮が示されるが、十五才ではほとんどならぬ変化も示されないうことになっている。女子では、十三才以後十五才まで進められずかすの時間の短縮が示されているだけである。さらに、立巾跳については、以前兵庫縣および山形縣において、全縣下に亘って行われた測定の結果がある。次に兵庫縣の結果の一部を借り、必要に応じて整理を加えて第十四表に示すことにする。

第5巻 體育の學習指導 中等学校篇 上巻

〔第6巻〕 體育の學習指導

― 中等学校篇 下巻

●日本体育指導者連盟編／昭和25年／金子書房

〔内容〕 指導計画（つづき）、教材の解説と指導法（バスケットボール、サッカー、バレーボール、スピードボール、ハンドボール、ソフトボール、トライボール、タッチフットボール、ベイスボール軟式、ラケット、陸上競技、水泳、徒手体操、巧技の解説、ダンス）

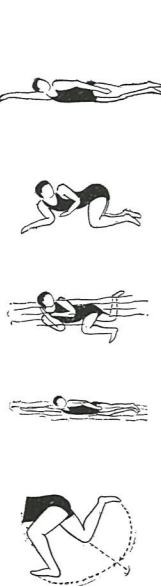
〔第7巻〕 小学校體育の學習指導

― 新指導要領解説 ―

●日本体育指導者連盟編／昭和29年／大修館書店

〔内容〕 體育科はどんな役割をもっているか、児童はどんなことを學習すればよいか、指導計画はどのように立てるのがよいか、どのように指導したらよいか、評価をどうしたらよいか、学校體育に関係ある法規

- 第一 右手を水面の直下に水中に伸ばし、左手を左股に当てる。足は指を重ねて真直に伸ばす。
- 第二 右の姿勢から、静かに手足を縮めて、右膝を胸に近づけ左足を後方にグッと開く。この時、左右の踵はほぼ同一平面にあるようにする。
- 第三 それと同時に手は指を合わせるようにして胸前に揃える。
- 第四 この姿勢から両足を大きく開き、水を大きくはきむような気持で縁の方向へ蹴り（足背を弾力的につかう）して浮き上がり、左手は肘から先で半円を描く姿勢で左内股へかえす。



第7巻 小学校の學習指導

戦後体育学習指導資料集 全7巻

岡出 美則 編・解説

第1巻	師範体育、体育のカリキュラム	定価 16,000 円 (税別)	ISBN978-4-87733-896-1
第2巻	新しい小学校 体育学習の指導	定価 10,000 円 (税別)	ISBN978-4-87733-897-8
第3巻	体育の学習指導 小学校篇 上巻	定価 12,000 円 (税別)	ISBN978-4-87733-898-5
第4巻	体育の学習指導 小学校篇 下巻	定価 14,000 円 (税別)	ISBN978-4-87733-899-2
第5巻	体育の学習指導 中等学校篇 上巻	定価 10,000 円 (税別)	ISBN978-4-87733-900-5
第6巻	体育の学習指導 中等学校篇 下巻	定価 16,000 円 (税別)	ISBN978-4-87733-901-2
第7巻	小学校体育の学習指導	定価 14,000 円 (税別)	ISBN978-4-87733-902-9

A5判/上製函入り/クロス装/平成27年8月末日刊行
揃定価 92,000 円 (税別) ISBN978-4-87733-903-6 (セット)

クレス出版好評既刊書

人間形成と社会 一学校・地域・職業 全Ⅲ期 21巻 木村 元 編・解説

●第Ⅰ期	学校方式の受容の諸相 全7巻	揃定価 95,000 円 (税別)	ISBN978-4-87733-652-3 (セット)
第1巻	学校方式導入以前の人間形成	定価 10,000 円 (税別)	ISBN978-4-87733-653-0
第2巻	学校による人間形成	定価 16,000 円 (税別)	ISBN978-4-87733-654-7
第3巻	店員養成の世界	定価 12,000 円 (税別)	ISBN978-4-87733-655-4
第4巻	丁稚と徒弟の養成	定価 16,000 円 (税別)	ISBN978-4-87733-656-1
第5巻	産婆・看護の学校方式化	定価 10,000 円 (税別)	ISBN978-4-87733-657-8
第6巻	学校方式の問い直し	定価 17,000 円 (税別)	ISBN978-4-87733-658-5
第7巻	学校方式の「郷土化」にむけて — 峰地光重と上灘小学校の教育	定価 14,000 円 (税別)	ISBN978-4-87733-659-2
●第Ⅱ期	地域と学校による人間形成 全7巻	揃定価 95,000 円 (税別)	ISBN978-4-87733-660-8 (セット)
第1巻	戦後新教育とコアカリキュラム	定価 16,000 円 (税別)	ISBN978-4-87733-661-5
第2巻	地域の動態と教育の計画	定価 18,000 円 (税別)	ISBN978-4-87733-662-2
第3巻	地域社会の女性と青年	定価 11,000 円 (税別)	ISBN978-4-87733-663-9
第4巻	学校統廃合・過疎問題	定価 16,000 円 (税別)	ISBN978-4-87733-664-6
第5巻	都市の住民の地域作り	定価 10,000 円 (税別)	ISBN978-4-87733-665-3
第6巻	地域社会と学力	定価 18,000 円 (税別)	ISBN978-4-87733-666-0
第7巻	地域社会に内在した人間形成言説	定価 6,000 円 (税別)	ISBN978-4-87733-667-7
●第Ⅲ期	人間・社会連関の調整 全7巻	揃定価 95,000 円 (税別)	ISBN978-4-87733-668-4 (セット)
第1巻	青少年人口の動態と労働事情に関する調査資料	定価 13,000 円 (税別)	ISBN978-4-87733-669-1
第2巻	青少年労働市場に関する調査資料	定価 13,000 円 (税別)	ISBN978-4-87733-670-7
第3巻	職業世界の新展開	定価 15,000 円 (税別)	ISBN978-4-87733-671-4
第4巻	職業指導と少年職業紹介	定価 15,000 円 (税別)	ISBN978-4-87733-672-1
第5巻	青少年労働市場と人間観の変容	定価 14,000 円 (税別)	ISBN978-4-87733-673-8
第6巻	現代教育機構解説叢書	定価 15,000 円 (税別)	ISBN978-4-87733-674-5
第7巻	社会の出産の手ほどき	定価 10,000 円 (税別)	ISBN978-4-87733-675-2

近代日本の人間形成と学校

—その系譜をたどる—

「学校方式の時代」をつくり上げた19世紀後半から高度成長期にかけての学校による人間形成の様態を描き出す。『人間形成と社会 一学校・地域・社会』（全Ⅲ期 21巻）の解題でもある。

定価 3,800 円 (税別)
ISBN978-4-87733-676-9



〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町
14-5 メローナ日本橋
電話 03-3808-1821 FAX03-3808-1821
<http://www.kress-jp.com/>

株式会社 クレス出版

●書店名